

能登半島地震の現場から問う！

復旧・生活再建をめぐる対抗軸

— 蔑ろにされる被災者の命と暮らし

日時 2024年9月21日（土）

13時30分～16時30分

会場 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 8F

バンケットホール 8B

（JR市ヶ谷駅から徒歩1分） web配信あり

報告①

高林秀明 さん（熊本学園大学教授）

「被災地にみる人権と自治の課題—いのちの保障なき日本社会の縮図」

報告②

岡田知弘 さん（京都橘大学教授・京都大学名誉教授）

「なぜ進まない 被災地の救援・復旧・復興—惨事便乗型復興政策vs「人間の復興」—」

コーディネーター 後藤道夫さん（都留文科大学名誉教授）

能登半島被災地では、被災者の生活再建が一向に進まず、住民の流出が続いています。それを加速させるかのような災害復旧における「選択と集中」論が幅をきかせ、一部の地方議会では財政的に無駄だとして「万博よりも被災地復興に」という意見書が不採択になる状況もあります。能登半島の被災地で何が起きているのかを検証することで、政府や地方自治体による災害対応のあり方を問い直してみたいと思います。それは、今後起きる可能性が高い首都直下型地震や南海トラフ地震の被害を受ける大都市圏住民の問題でもあります。

お問い合わせ：福祉国家構想研究会事務局
京都府保険医協会 気付

TEL 075-212-8877

FAX 075-212-0707

shinfukushikokkakousou@gmail.com

お申込みは **9月19日17時×切**

<https://forms.gle/X3ZUg5LWPvuQyaV67>

参加ご希望の方は×
切までにQRコードか
らお申し込みくださ
い。不明な点は電話
でお問合せください。

